

ならちゅうしん経営研究会 例会報告
第 335 回 研究会（北海道帯広視察研修）

日 時 令和 1 年 6 月 7 日(金) ～ 9 日(日)

場 所 県外視察 北海道帯広方面

内 容 第 1 日目 6 月 7 日(金)

午前 8 時 10 分 大阪国際(伊丹)空港発

午前 9 時 55 分 新千歳空港着

1. 講演(昼食) 農事組合法人 共働学舎新得農場
(北海道上川郡新得町字新得 9-1)

農業、畜産業、チーズ製造

2. 視察 鹿追町環境保全センター

(北海道河東郡鹿追町鹿追北 4-5)

バイオガスプラント

3. 異業種交流会 インザスイート

(北海道帯広市西 1 条南 9-6)

講演 駒野 裕之氏 株式会社とかち製菓 代表取締役

第 2 日目 6 月 8 日(土)

4. 視察 株式会社 ノラワークスジャパン

(北海道河東郡音更町下土幌北 1 線 31)

マンゴー栽培

5. 見学 農業生産法人 株式会社 ポーヤ・ファーム

(北海道中川郡池田町字清見 224-2)

シープドッグショー

6. 視察(昼食) 池田ワイン城「池田町ブドウ・ブドウ酒研究所」

(北海道中川郡池田町清見 83)

ワイン等酒類製造販売

7. 見学 帯広競馬場(ばんえい十勝)

(北海道帯広市西 13 条南 9 丁目)

第 3 日目 6 月 9 日(日)

8. 見学 株式会社 柳月 スイートピア・ガーデン

(北海道河東郡音更町下音更北 9 線西 18-2)

9. 見学 十勝千年の森

(北海道上川郡清水町羽帯南 10 線)

午後 5 時 05 分 新千歳空港発

午後 7 時 00 分 大阪国際(伊丹)空港着

今年度の視察研修は、期初の計画通り、北海道帯広方面への視察研修を実施しました。

(北海道十勝地域について)

北海道十勝地域は、北海道の東南部に位置し、面積は10,831.24km²、人口は337,939人(令和1年5月31日現在)で十勝総合振興局が置かれる行政の中心地は帯広市です。

産業は畑作や酪農を中心とした農業畜産が非常に盛んで、北海道一の畑作地帯であり、広い耕地に大型の農業機械を活用した大規模農業が発達しています。主要な農作物は、大豆、小豆、甜菜(てんさい)、じゃがいも等で、カロリーベースの食料自給率は1100%(約400万人分)に達します。特に乳製品や食肉、小豆製品などは「十勝産」を売り文句や商品名に盛り込んでいるものが多く、高いブランド価値を持っています。

また、菓子の材料となる砂糖(甜菜)や小豆の産地であるため、製菓業も盛んであり、六花亭、柳月など全国的にも有名な菓子メーカーを多数擁しています。

(農事組合法人 共働学舎新得農場 講演)

第1日目6月7日、最初の視察先として、農事組合法人共働学舎新得農場を訪問させて頂きました。「共働学舎」は1974年、宮嶋眞一郎氏の首唱のもと、心や体に不自由を抱える人たちと数人の仲間によって、長野県小谷村で立ち上げられました。「競争社会ではなく協力社会を」を理念に、人間一人一人に与えられている命の価値を重んじ、お互いに協力しあうことによって、競争のない社会を創ろうとするものです。

新得共働学舎は新得町にある通称「牛乳山」の麓に位置する約100ヘクタールの土地で、牛や豚、鶏を育て野菜を作り、約60名の人たちと自労自活の暮らしを営んでいます。ここでは十勝地方の風土を活かし、農薬や化学肥料を使わずに、自然の理念に沿う炭を使った方法で、牛を飼い、その牛乳でチーズを作るといった美味しさを追求した物づくりを一貫して行っています。今回の視察ではチーズをふんだんに使ったランチメニューを戴きながら、共働学舎のお話を拝聴させて頂きました。



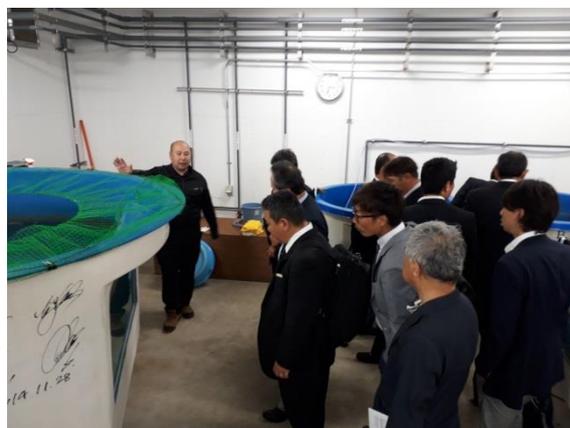
共働学舎新得農場 ご講義

(鹿追町環境保全センター 視察)

第1日目6月7日の午後は、鹿追町環境保全センターを視察させて頂きました。最初に鹿追町役場の井上様より、バイオガスプラントを核とした「鹿追町環境保全センター」について、ご説明を頂きました。鹿追町は十勝平野の北西に位置し、農業と観光を基幹産業とする人口約6,000人の純農村地域です。当施設は農業と観光業の発展と両立を図るため、地域にとっての課題であった家畜ふん尿や生ゴミ、下水汚泥を適正に処理しバイオガス資源として有効活用するもので、国内有数規模の処理規模を誇ります。これにより、①環境の改善②農業生産力の向上③地球温暖化の防止④循環型社会の形成⑤地域産業活性化の推進と、リサイクルを通じたエネルギーの地産地消により一石五鳥のメリットが実現するもので、全国的にも画期的な取り組みであるとのことでした。ご説明の後は、乳牛ふん尿の処理施設、水素ステーション、マンゴー栽培用ハウス、蝶鮫（ちょうざめ）飼育施設等を見学させて頂きました。



鹿追町環境保全センター ご説明



蝶鮫（ちょうざめ）飼育施設 見学

(帯広信用金庫取引先企業との異業種交流会)

第1日目6月7日の夜は、帯広信用金庫取引企業との異業種交流会を行いました。交流会に先立ちまして最初に、株式会社とかち製菓 代表取締役 駒野裕之氏より、「ハラルで拓く海外市場」と題して、海外展開事例紹介についてのご講演を賜りました。十勝産の和菓子をイスラム圏であるマレーシアで販売しようと考え、優れた製品開発力を武器にハラル対応の和菓子を開発されるに至った経緯や、具体的な取り組みについてご苦労談も交えて、お話しを頂きました。

当社は、このような海外展開に係る取り組みが評価され、輸出に関心のある農家や事業者らを支援する農林水産省の「グローバル・ファーマーズ・プロジェクト（GFP）」登録事業者の中から優良事業者として選ばれ、今年3月に農林水産大臣賞を受賞されています。

ご講演終了後には当会参加者との活発な意見交換が行われ、双方にとって非常に参考になるご講演でした。



株式会社 とかち製菓 代表取締役 駒野 裕之氏 ご講演

ご講演に続いて、帯広信用金庫取引先企業12名、帯広信用金庫役職員8名、当会参加者15名による名刺交換会を行いました。その後の交流会では、最初に、帯広信用金庫高橋理事長よりご挨拶を頂き、丁重なる歓迎のお言葉に加え、十勝地域の特長や経済情勢、株式会社ボーヤ・ファーム様のシープドッグショーに絡めた楽しいお話を交えた観光名所などについてご紹介を頂きました。その後に、当会30周年記念DVDの上映により当会を紹介させて頂きました。



帯広信用金庫 高橋理事長 ご挨拶

続いて、当会上田会長より乾杯のご挨拶、交流会の間には、参加企業様より自社の事業や商品、取り組みについてのPRがあり有意義な交流会となりました。最後は奈良中央信用金庫の谷野専務理事よりの挨拶で締めくくられました。



上田会長 乾杯ご挨拶



谷野専務理事 ご挨拶

(株式会社 ノラワークスジャパン 視察)

第2日目6月8日の午前は、北海道で熱帯地方の果実であるマンゴー栽培に取り組まれている株式会社ノラワークスジャパンのハウス農場を視察させて頂きました。代表の中川社長より、北海道でマンゴーを作る「真冬のマンゴープロジェクト」を立ち上げるに至った経緯のお話をうけながら農場内を案内頂きました。温泉熱エネルギーと雪氷冷熱エネルギーといった地域資源エネルギーの活用という逆転の発想から生まれた十勝産マンゴー

「白銀の太陽」は市場から高い評価を受けているとのことです。中川社長の「この十勝に新たな産業を興したい！！」という地域を思う情熱とその実行力に大変感銘を受けました。



株式会社 ノラワークスジャパン マンゴーハウス視察

(池田ワイン城「池田町ブドウ・ブドウ酒研究所」視察)

第2日目6月8日の午後は、池田ワイン城「池田町ブドウ・ブドウ酒研究所」を視察させて頂きました。池田ワイン城は池田町が公営事業として運営する全国的にも数少ない自治体が経営するワイン醸造所です。ヨーロッパ中世の古城に似ていることから「ワイン城」と名づけられ、親しまれています。

地下熟成室ではワインが静かに眠るフレンチオーク樽やオールドビンテージの数々が保管されており、1階は十勝ワインをはじめ池田町の特産品が買えるショッピングエリア、4階はレストランとなっており、雄大な十勝地方の風景を眺望しながら食事が出来る施設となっています。

当日は池田町職員で当池田ワイン城に勤務される宮澤係長より地下熟成室やワイン醸造施設を案内頂き、ワインの製造工程を解説頂きました。また、ワインを蒸留して製造するブランデー、ワインを発酵させて製造するスパークリングワインの工程についても詳しく解説頂き、とても勉強になりました。

また当池田ワイン城事業は、地域の産業観光振興に大変寄与していることに加え、事業収支も良好で黒字経営を続けているとのこと。健全経営の積み重ねによって、当初に要した多額の設備投資費も既に回収済みであり、順次、新しい設備投資を実施し施設の魅力を高め、生産性を向上させるなど、自治体が運営する事業としては、非常に経営感覚にも優れており、大変参考になりました。



池田ワイン城 地下熟成室



スパークリングワイン試飲

(まとめ)

北海道十勝地域は我々が基盤を置く奈良県の約3倍の面積がある広大な土地に、奈良県の約1/4の人がゆったりと暮らす悠然とした土地柄でした。農業畜産が主幹産業で視察地には雄大な農地や牧草地が広がっていました。奈良県の農業は古代よりの条里制に区切られた狭小な農地に兼業農家が1町歩にも満たない水田を先祖よりの土地を維持するために耕作する極めて生産性の低いものです。奈良県に対して十勝地域では専業農家が多く1軒で10町歩を超える大きな農地を大型の農業機械で耕作し、付加価値の高い農産物を栽培する生産性の高い農業経営を実施されています。

今回視察させて頂きました鹿追町環境保全センター、池田ワイン城など自治体が公営で地域の農業畜産を支えており、また株式会社ノラワークスジャパンの中川社長の様に、地域に新しい産業の創出を目指してマンゴー栽培に取り組まれる事業者が活躍され、開拓精神が現在も連綿と受け継がれていると感じました。また異業種交流会では企業家の皆様が非常に前向きに新規事業に取り組まれていること、中でも女性が前面に立って生き生きと活躍されていること、帯広信用金庫様が地域と一体となって地域の産業振興をサポートされていること等、非常に学び多い視察研修となりました。

最後に、帯広信用金庫の高橋理事長、高橋常務理事、地域経済振興部の太田副部長をはじめ、異業種交流会にご参加頂きました企業家の皆様、視察にご協力頂きました企業、団体の皆様のご好意により、充実した視察研修となりましたことを深く感謝申し上げます。



6月8日宿泊 観月苑 記念撮影

【他視察先写真】

第2日目6月8日



株式会社 ボーヤ・フォーム
シープドッグショー見学



帯広競馬場
ばんえい競馬観戦

第3日目6月9日



株式会社 柳月
スイートピア・ガーデン見学



十勝千年の森
公園散策